

## 精神看護学演習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

精神保健上の問題を抱えている患者を、患者としてだけ見定めるのではなく、その人に固有の生活の背景や、家族と地域生活との関係において理解する。精神疾患をもつ患者の回復を助けるために必要な治療的援助関係をアセスメントし、看護師が自らケアを提供する手段や方法を事例を用いてかかわり方を学習する。特に患者の生活史や家族背景、地域環境要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解できることによって、治療の場の構造や文化を看護に活用することを目指す。

### ・教育成果（アウトカム）

精神保健領域において看護援助を行う上での基礎的な知識と技術を習得後に、精神保健上の問題を抱えている患者のケアを適切に行うための計画と実施、評価をおこないながら、実際の看護展開に活かせるような対人的な能力を身につける。それにより対人関係のアセスメント能力を高めるとともに自ら対人関係能力を活用できるようにする。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：4,5,7

### ・到達目標（SBO）

1. 疾病別、個人別の対人関係パターンを捕らえるための方法を理解できる。
2. 患者の置かれた状況、家族関係を取り巻く対人的な環境についての査定を行うことができる。
3. 患者が自ら必要だと思える治療環境の効果的な選択ができるように促すことができる。
4. 回復過程に伴う療養上での困難な課題を患者とともに共有し、解決できるようなケアの見通しが持てるように演習によって体験したことを言語化できる。

・ 授業日程

(矢) マルチメディア教室、(大) 大堀記念講堂、他

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/6	水	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの基本】 精神看護学概論、精神看護方法論で学修した内容と本科目のつながりや演習の意図、進め方についてオリエンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本科目と関連科目のつながりを理解できる</li> <li>・ 本科目の意図、進め方を理解できる</li> </ul> <p>(マルチメディア教室)</p>
4/7	木	3	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 1 統合失調症患者のケア】 「統合失調症患者の事例」について、ワークにより実習用記録用紙を用いた看護アセスメントを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習記録用紙の記載方法について理解できる</li> <li>・ 積極的に各ワークに参加し、記録やディスカッションなどで自身の考えや思いを表現できる</li> </ul> <p>(大堀記念講堂)</p>
4/7	木	4	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 1 統合失調症患者のケア】 統合失調症についてこれまでに学習した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。ワークやディスカッションによる成果は、発表し全体での共有を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統合失調症患者の看護アセスメントを展開できる</li> </ul> <p>(大堀記念講堂)</p>

4/15	金	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 2 気分障害患者のケア】 「気分障害患者の事例」について、ワークにより実習用記録用紙を用いた看護アセスメントを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に各ワークに参加し、記録やディスカッションなどで自身の考えや思いを表現できる</li> </ul> <p>(マルチメディア教室)</p>
4/15	金	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 2 気分障害患者のケア】 気分障害について、これまでに学習した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。ワークやディスカッションによる成果は、発表し全体での共有を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気分障害患者の看護アセスメントを展開できる</li> </ul> <p>(マルチメディア教室)</p>
4/20	水	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 3 神経症性障害、ストレス関連障害患者のケア】 上記事例の実習記録用紙を用いた看護アセスメントを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に各ワークに参加し、記録やディスカッションなどで自身の考えや思いを表現できる</li> </ul> <p>(大堀記念講堂)</p>
4/20	水	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 3 神経症性障害、ストレス関連障害患者のケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神経症性障害、ストレス関連障害患者のアセスメントを展開できる</li> </ul> <p>(大堀記念講堂)</p>

4/22	金	3	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 4 社会のなかの精神障害】 社会のなかの精神障害について再考し、精神障害者が社会のなかでどのような「生きにくさ」を抱えているのか、また同時にどのような強さ（ストレングス）を持っているのかについて、視聴覚教材を用いて理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神障害者が抱える「生きにくさ」と、「強さ（ストレングス）」について理解できる</li> </ul> <p>（大堀記念講堂）</p>
4/22	金	4	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 4 社会のなかの精神障害】 視聴覚教材を視聴後、障害を抱える人々が抱える「生きにくさ」とそれが何によって生じるのかのレポートを記入し、ディスカッションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題に沿って考え、積極的にディスカッションに参加し自らの考えを表現できる</li> </ul> <p>（大堀記念講堂）</p>
4/25	月	4	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【異和感の対自化とプロセスレコード】 病棟での実習場面を想定し、異和感の対自化を体験し、自分自身の感情を取り扱うことの扱い方の意味と方法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異和感の対自化を体験し、看護師自身の感情の扱い方を理解できる</li> <li>・ 感情を活用したケアの方法について説明できる</li> </ul> <p>（マルチメディア教室）</p>
4/25	月	5	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【異和感の対自化とプロセスレコード】 異和感の対自化の場面をプロセスレコードとして記入し、関係性のアセスメントの意味と方法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係をアセスメントすることの意味と方法を理解できる</li> <li>・ やりとりの意味を考え、プロセスレコードに記入できる</li> </ul> <p>（マルチメディア教室）</p>

5/11	水	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー	<p>【患者への接近法Ⅰ 入院治療と看護の展開】</p> <p>実習場面でおこりうる看護場面の再構成を行うために、実習病院の看護師や精神障害者当事者等もシナリオロールプレイに参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シナリオロールプレイに積極的に参加し自身の考えを表現できる</li> </ul> <p>(大堀記念講堂)</p>
5/11	水	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー	<p>【患者への接近法Ⅰ 入院治療と看護の展開】</p> <p>病棟での実習場面を想定した事例の展開をシナリオロールプレイで学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害を抱える患者へのケアの方法を身につける</li> <li>・ディスカッションにより精神科でのケアのあり方について考察できる</li> <li>・レポート課題</li> </ul> <p>(大堀記念講堂)</p>
5/25	水	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー	<p>【患者への接近法Ⅱ 地域における看護の展開】</p> <p>地域における精神看護を、精神科訪問看護の立場および当事者の立場、当事者家族の立場などから学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科訪問看護師、当事者及びその家族の体験、現状等をゲストの語りから理解できる</li> </ul>
5/25	水	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー	<p>【患者への接近法Ⅱ 地域における看護の展開】</p> <p>ゲストの語りから、地域における精神看護の役割、自分自身の課題について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスカッションにより精神科でのケアのあり方について考察できる</li> <li>・レポート課題</li> </ul>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第6版	武井麻子他	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第6版	武井麻子他	医学書院	2021

・成績評価方法

定期試験 60%、Portfolio（完成度と利用度の評価）を 20%、レポート 20%として評価する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

事前学修は、所定の事前学修シートの各授業回の提示された keyword を調べてまとめておくこと。各回最低 30 分を要する。

また、事後学修は、所定の事後学修シートに、各授業回の学修の要点をまとめる。各回最低 30 分を要する。

事前・事後学修シートを Portfolio にまとめる。

授業中に映写するパワーポイント資料は WebClass に掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修すること。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

- ・各授業の最後に行う習得度チェックについては、授業内に解答・解説を行う。
- ・リアクションペーパーは、次回の授業においてコメントを付すなどしてフィードバックする。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 精神看護学

**【その他】**

講義では、教員、実習病院指導者、訪問看護師、精神障害を抱える当事者やその家族等と学生とのディスカッションにより、精神看護のケアのあり方について理解を促す。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター・PC	各 1	講義用スライド投影